

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第7回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○頸城区地域活性化の方向性の検証について

3 開催日時

令和5年10月18日（水）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

2名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村閨一（会長）、笠原昇治（副会長）、佐藤学、新保哲男、滝本篤透、西巻肇、船木貴幸、望月博、山本誠信、横山一雄、橋本春美（委員13人中11人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、渡邊次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川主査

8 発言の内容

【渡邊次長】

- ・会議の開催を宣言

【上村会長】

- ・挨拶

【渡邊次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：新保委員、滝本委員に依頼

【上村会長】

次第3 協議事項「(1) 頸城区地域活性化の方向性の検証について」に入る。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

質問はあるか。

無いようなので、今まで携わってきた「地域独自の予算」について各自の感想をお願いします。

【佐藤委員】

くびき野レールパークの公開に一度ボランティアとして参加した。関心のある方が非常に多く集まり大変魅力あるイベントだが、まだまだいろいろ工夫するところがあり、広がりという点で課題があるように思う。発信という部分では、自身も知恵出しやアドバイスなどが足りなかったとも思っている。

【新保委員】

大池・小池を活かした観光については、今年度の活動は環境整備がメインになってしまい、ソフト事業としては謙信公祭の狼煙上げくらいだ。詩吟、刀を使った藁切りのパフォーマンスなども行われ小学生を含め3、40人くらい参加があったが、情報発信が足りていないと思っている。頸城区の他のイベントに絡めて大池・小池の情報を発信するアピールも必要だと思う。キャンプ場は県内外から多く人が訪れており、遊歩道も整備され散策する人が多くいるので継続して活かしていきたい。

【滝本委員】

ボランティアや自分の商売、団体を通じていろいろな面で自分も参加してきたが、情報の発信方法が分かっていないように思えた。紙媒体の使い方やSNSの使い方が頸城区はどちらかというと上手ではなかった印象がある。紙媒体の使い方という点で柿崎区と吉川区が圧倒的に上手だった。頸城区はSNS発信が多いが、ハッシュタグやメンションなどをまだ理解できていないのか、情報がうまく拾い上げられていないのが現状で、若い人はイベント情報を探してもそのほかの人は探すのは困難である。情報発信の勉強会も併せて提案する必要があると感じた。また、頸城区の情報を発信するポータルサイトがあるかないかで変わってくると思っている。

【西巻委員】

大池・小池を活かした観光では、企画・運営を担う人材がないことが課題に上げられる。頸城区観光協会は限られた人材の中で、大池まつりやビジターセンターを使ったイベントを今年も実施している。それ以外で、例えばさくら会館等も絡めながらイベントができればよいと思っている。また、先日ウォーキングメジャーで大池・小池の遊歩道を実測してまとめた。そのデータは、頸城区観光協会も保有している。先日、スポーツクラブの事務局長のところへ行き、そのデータを利用して事業ができないか伝えてきた。ビジターセンターの利用も、ただ景色がよいだけでなく、カラオケがある、格安で使用できるという具体的なアピールをしながら少しずつ知名度を上げて、利用客を集めることが大事だと思っている。

【船木委員】

くびき野レールパークの公開は、毎回県外からの客が半数近くで、リピーターも多い。くびきのお宝のこす会のホームページは外部の応援スタッフが作っており、ホームページを見て来たという客も多くいた。頸城区独自の情報発信はもう少し工夫が必要かと思った。白田邸も年2回春と秋に公開し、一回につき100から200人近くは来ていただいているので成果を残せたと思う。ただくびき野レールパーク、白田邸ともに現地スタッフが全く足りていない。各団体は一生懸命活動しているが、頸城区の人がこちらを向いてくれないところが今後の課題であり、どう向かせるかは仕掛け次第だと思うがなかなか難しい。

【望月委員】

情報発信に課題があるという意見はまさにそうだと思う。頸城区外への情報発信もそうだが頸城区内への発信も紙媒体だけではなく、いろいろと試してきたがうまくいっていない状況である。大池・小池や小型蒸気機関車コッペル2号機などいろいろ目玉はあるが、運営する団体の人たちが高齢化して若い人たちにつながないという現状があり、人材の発掘と同時に後継者の育成も考え、議論しながら進めていかなければいけないと思う。

【山本委員】

季節の花が咲く通学路のポケットパーク事業に参加した。地域で若い人に聞くと事業自体知らなかったというのが現実で、全戸配布や回覧板等で回ってきていても若い人はほとんど見ていない。若い人に対する情報発信や後継者育成をきちんとやらなく

てはいけないと思った。

【横山委員】

地域活動支援事業は補助金をもらい一生懸命やらなければという意気込みがあったが、「地域独自の予算」ではその意気込みが無くなっているように感じている。

くびき野レールパークの一般公開は、県外の会員からもたくさん応援いただき、一生懸命やっているが、やはり決まった人しか活動していないのが現実である。LINEやSNSばかりではなく、頸城区の人たちが参加できるようなシステムを作らなければならないと思っている。

今年、大池まつりが大盛況だったのも、ある程度お金をかけたからだと思っている。それともう一つは一生懸命に携わる人たちや、ボランティアの人がいなければいけないと思っている。公式LINEの「くびきまちづくり隊」は、50名くらいの登録しかないと聞いている。そもそも頸城区の人は引っ込みがちなところがあると思っている。LINEやSNSは使えない人もいるので、紙媒体で周知したほうがよい。また、イベントを行ってみたくなる内容にしていくことが大事だと思う。

【橋本委員】

今年度は地域協議会委員としては、外国人との交流でファーマーズマーケットに参加した。個人的には頸城区観光協会が所有しているインスタグラムの運営のお手伝いをしていて、もう一つはくびき野レールパーク一般公開時に自宅からプラレールを持ってきて子供たちが遊べる場所を提供した。

外国人との交流、ファーマーズマーケットは参加した地元の方からファーマーズマーケットというイベントだとしても、野菜は買わなくてもよいのではないかと話があった。それを受けた頸城区観光協会からはファーマーズマーケットにこだわらず外国人が楽しいと思えるようなカラオケや地元の買い物ができるようなものに変化させていってもよいのではないかと話があった。

来年度、学習面で外国人の子供たちを巻き込んで親に広げていけるような活動が増えると思うので、協力できたらよいと思っている。

情報発信では、くびきのお宝のこす会からくびき野レールパーク一般公開時にキッチンカーなどの飲食店の出店があることを、頸城区観光協会のインスタグラムで周知してほしいと依頼があり、頸城区観光協会へつなげた。頸城区観光協会のインスタグラムにくびき野レールパークのイベント情報を掲載すると、キャンプに行く方が途中

で寄ったりしている。これがSNSの使い方なのだと個人的に感じていた。私も携わっている団体による情報発信の活動が検討されている。これで頸城区をどのように紹介していけるか分からないが、できることを一生懸命やっていきたい。

【横山委員】

直前のイベント周知ではなく、半年や年間の計画表を事前に各家庭に配布して、近くなったら放送等で促すといった方法がよいのではないか。

【笠原副会長】

私もいろいろな行事に参加しているが、地域協議会委員が参加している姿をあまり見ていない。応援や激励を含めて来ていただけるとありがたい。

公式LINE「くびきまちづくり隊」を活用してボランティアを募っても参加してもらえるのは1、2人である。頸城区総合事務所の職員から一緒に参加してもらっているが、時間も短時間なので意識を持って足を運んでもらいたい。行事に参加したり応援をしたりして関心を持ってもらうことで問題をしっかり把握でき、具体的な意見が出てくると思う。

【上村会長】

昨年まで実施していた地域活動支援事業と、今回の「地域独自の予算」に温度差があるという意見は私も痛感している。地域活動支援事業では、提案された事業を地域協議会委員一人ひとりが審査を行ってきた。「地域独自の予算」は地域協議会で提案した五本柱の事業として取り組んできたが、地域協議会の関わり方としては、ほとんどボランティア的に参加している状態だった。令和6年度の予算要求も行っているが、中心となっている人たちと頸城区の住民との温度差が広がってきた時が怖いと思った。情報発信は若い人から年配の人までにどう対応したらよいのか難しいところである。

ファーマーズマーケットは、去年は収穫祭として取組み、今回は買い物ということで外国人と交流しようという試みであった。来年度は2団体が外国人を対象としたイベントを提案しているが、その一つは頸城区の子供たちや外国語などを対象としているようであり、もっと違う角度で親しみが湧くようになるのではないかと考えている。

いろいろな発言があったので整理し、検証していきたいと思う。最終的には3月にまとめていきたいと思うがいかがか。

・委員了解

補足はあるか。

【渡辺班長】

この時間だけでも今年度の良かったところや課題などが出たように思う。今後、「地域独自の予算」の柱ごとに分かれ協議し、意見交換を進め3月までに頸城区の地域活性化の方向性を形にできたらよいと考えている。

【上村会長】

今までの中で意見等ないか。

【新保委員】

大池まつりは、小池の下の駐車場係をやっていた。今年は駐車場も満車で停めるところもないくらい盛り上がっていたと聞いた。昨年度と今年度の違いを分析したら後日聞かせてほしい。

【上村会長】

私も同感で、ここに実行委員長がいるのでその分析があれば教えてほしい。

【望月委員】

現在検証中であるが、参加人数は2,500人で、明治振興会から駐車場整備の協力を得られ良かったと思っている。頸城区以外の人が多かったように見受けられる。要因は情報発信が頸城区外へ行き届いたことだと思っている。まだ詳細な分析はできていないが、これまで新型コロナウイルス感染症でイベントに制限がかかる状況が続いたことや、当日の天気もよく多くの人が繰り出したからだと分析している。

来年も同じ内容で同じ人数が集まるかは疑問だが、駐車場が満車になり路上駐車も見られたので、そのようなことがないようにイベントの内容を検討する必要があると考えている。

ファーマーズマーケットも頸城区観光協会で開催しており検証中である。「ファーマーズマーケット」だが、農家が収穫したものが何もなかったというのが事実である。今回の実施方法で外国人の人たちも来てくれて、どのようなことをすれば交流ができるかも分かってきた。その方向で実施することも今後必要だと考えている。また、もう少し地元の協力を仰いでもよいと思っている。西巻委員も頸城区観光協会のメンバーなので補足をお願いする。

【西巻委員】

頸城区の祭りということであれば大池まつりとくびきの祭典だが、例えば柿崎時代

夏まつり、吉川区の竿燈の越後よしかわやっつたれ祭りは、地元根差し、地元で作られてきたものである。頸城区の祭りも本来そこに主眼を置くべきであると思うが、昨今の状況では誘客も含め外部に頼らなければならない状態であると思う。外部に頼ることが悪いわけではないが少し祭りから離れていっているように感じる。その辺りの兼ね合いを頭に入れておく必要があると思っている。

【上村会長】

私も2,500人という数字を聞いて驚いた。昔から鯉やフナのつかみ取りをした歴史があったが、今年のニジマスのはつかみ取りは希望者が多く、財源の関係で、希望者全員が参加できなかったと聞いている。つかみ取りは、今後も残してもらいたい。

【滝本委員】

昨年との違いは、今回は新聞の折り込みチラシを頸城区以外に2,500枚近く入れたことである。もう一つはバランスよくSNSを使った発信を行ったのが良かったと思っている。私のインスタグラムのリーチ数も5,600件くらいあったのでそれもあるってバランスが良かった。ハッシュタグやメンションをもっとつけてもらい発信すればもっと人が来ると思う。今後の周知をどうしたらよいか先が見えて良かったと思っている。

【笠原副会長】

駐車場で車の誘導を担当したが、シャトルバスの運行があることをもう少し情報発信すればよかったと思う。シャトルバスを利用すれば、会場から遠い駐車場に車を駐車する必要がなくなる。ビジターセンターや大池いこいの森駅に車を停めた人が多かった。その辺りの周知が足りなかったように思う。

【船木委員】

頸城区だけではなく上越市全体もそうだが、自分で汗を流してイベントをやろうという人が少なく、基本的にお客でいたい人が多い。どうやってイベントを実施する側の人を増やすかが今後の課題であると思っている。

【上村会長】

事務局、今後のスケジュールについて説明願う。

【渡辺班長】

これから12月まで協議を重ねていき3月には形にしたいと考えている。

【上村会長】

改めて事務局から今後のスケジュールについて説明があったがそれでよいか。
異議なしの声。

それでは協議事項については以上とする。その他に入る。

【渡邊次長】

- ・その他について説明。
- ・次回の第9回地域協議会の日程について提案
令和5年11月17日（金）午後6時30分から開催
※ 後日、行事等の関係で11月22日（水）に日程変更

【上村会長】

開催日時は問題ないか。

- ・なしの声
他にないか。
- ・なしの声
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）
E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。